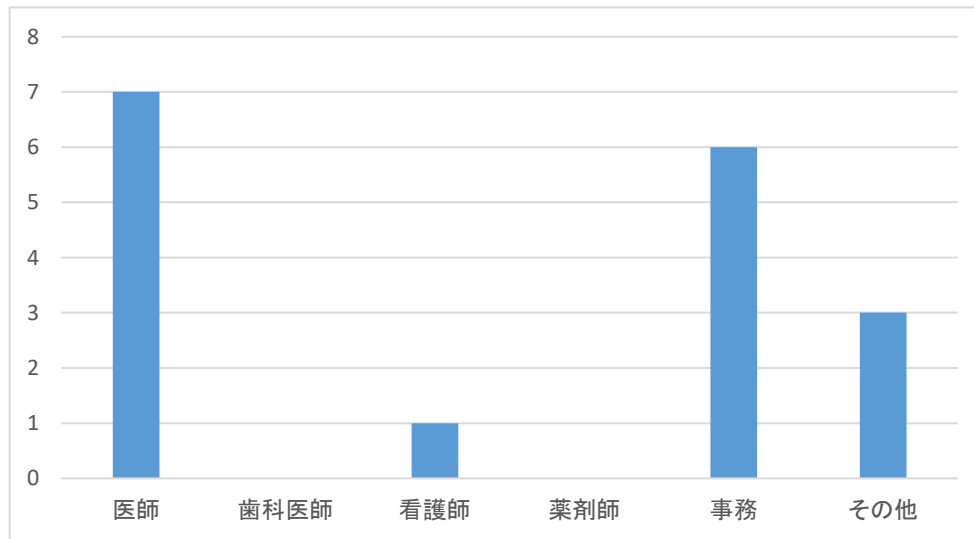


病院経営公開シンポジウムアンケート(開催日時:10月18日(日)WEB開催)

参加者59名うちアンケート回答数17

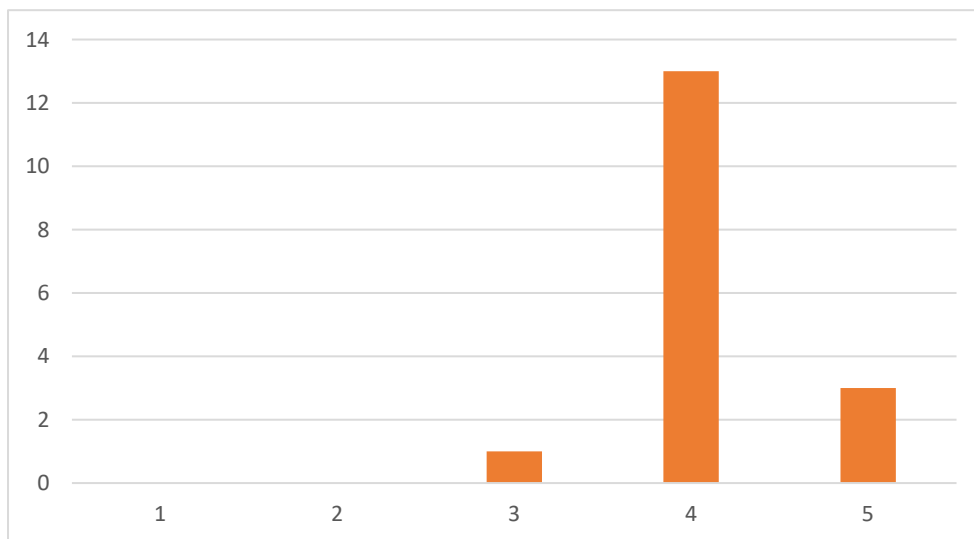
1. あなたの職種を教えてください。



2. 1で「その他」を選択した方は、職種を入力してください。

医療品卸	2
臨床検査技師	1

3. 本日のシンポジウムの満足度を5段階評価でお答えください。



評価の平均 4.12

4. 一番印象に残った内容は何ですか。

① 投資にリターンが伴わない医療の特殊事情
② 有事への対応として、余裕のある体制構築という所。 有限の資源をどう利用するか、国民の理解が得られるのか。
③ 岡田先生のコロナ対応の現場のお話 裴先生のコントロール可能な事項への注力(紹介患者増の方法等)
④ ミニケースによる模擬授業
⑤ セミナー後半のディスカッションでのやり取り
⑥ コロナ最前線で頑張っておられる、岡田先生の講演は共感するところが多かったです。裴先生の、やれるところからやっていくという考えに、なるほどとあらためて思いました。
⑦ 模擬授業: ケーキ店の話でしたが、実際の病院でも病院の方向性や理念を職員一人一人が理解していないため一体感がないまま日々の業務をしているように感じているので。
⑧ コントロールできることと出来ないことの選別
⑨ どれもよかったのですが、3番目の方のcontrolableなことに注力するというマネジメントは勉強になりました。
⑩ 貴重な講義有難うございました。全ての講師の方々の内容が、興味深く印象に残っております。
⑪ 坂出市立病院 岡田節雄 院長の特別講演で、「コロナウイルス感染症は、病院に対するコロナ負荷試験」である」という言葉が印象に残りました。
⑫ 裴英珠先生
裴先生の ⑬ 「既存の協力関係にある病院同士をオンラインで繋ぎ、より強固な関係性を作る」という病院経営スタイルについて感心したため現在病院でも進めていく様にしております。
⑭ 坂出市立病院の岡田先生の講演
⑮ 裴先生の連携維持のための方策が印象に残りました。
⑯ 鎌倉ケーキショップを題材にしたデモンストレーション

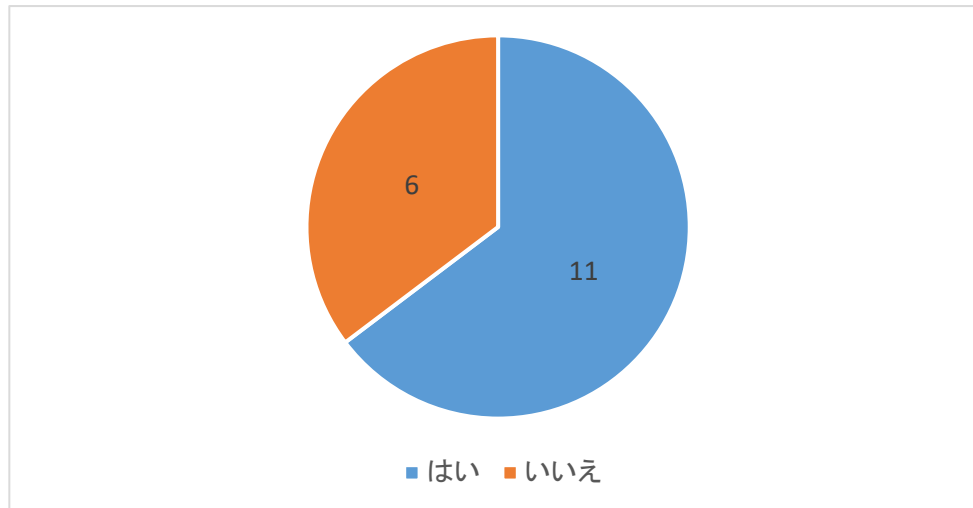
5. 病院経営で何を学びたいですか。

①	地域における連携医療の効率化、相互の収入確保域における連携医療の効率化、相互の収入確保
②	自院のみ生き残るのではなく、地域最適化を目指した経営戦略。他施設に動いてもらうための仕掛け。
③	経営分析、組織学等
④	経営改善手法
⑤	原価計算
⑥	適切な財務管理の手法、DPC対象病院における病院収入の考え方、問題解決の手法
⑦	病院経営と危機管理 職員の意識改革 モチベーションの上げ方 地域医療構想における連携の在り方
⑧	事務の教育について
⑨	職員満足度・患者満足度アップの両立法
⑩	経営はマネージメントが重要ですが、ドラッカーのマネージメント理論を病院経営に使用できるのか知りたいです。
⑪	経営戦略の立て方。戦略に基づく戦術の立て方です。
⑫	コロナ下での病院経営
⑬	システムの把握、及び全体像を経済学的観点と医学的観点から見える様になりたい。
⑭	人事
⑮	自院の今後の成長戦略を如何に打ち出すかを勉強したいと思います。

6. 病院経営で、あなた自身が悩まれていることは何ですか。

①	医療事務のスキルアップと効率の良い人事異動、教育
②	自院を把握する指標。 患者数、請求額、紹介等のその時々で注目すべき指標をどうするのか。
③	スタッフ教育、人材育成
④	医師等の協力
⑤	病院経営の方針と問題意識を自身が管理する部門に落とし込みつつ、部門としての課題意識に翻訳し、部下に対し説明することの難しさに悩んでいる
⑥	職員が誇りをもって働ける病院にしていく方法 経営と医療の質の両立、そして地域での役割を担っていく方法
⑦	小病院での医師のわがままを何処まで許容していいか？
⑧	トップの考えを運命共同体であるスタッフにどのように伝達してゆくのか？さらにスタッフからの情報を如何に取ってゆくかが悩みでもあり、知りたいことですね。
⑨	効果的な人的資源の育成・活用。不透明な外部環境及びその変化により、いかに評価し、改善につなげていくか。アウトカムの設定の掲げ方でしょうか。講義の中にありましたが、とても関心があります。管理者として悩ましいところです。
⑩	経営陣の意識改革、病院のガバナンスです。
⑪	患者さんを集めること
⑫	自分たちが手術をして収益が上がっても、それがコメディカル含めた給料に反映されないためドクターとコメディカルのモチベーションの乖離と忙しい部門ほど負の精神マインドループに陥りやすいこと。陥っていること。
⑬	人事
⑭	地域医療構想における病院統合、医療連携に関していかにするべきか。

7. プログラムを受講してみたいと思いますか。



8. その他、何でもご自由に記載してください。

①	時間の関係で模擬授業の直前で退席せざるを得ませんでした、パネルディスカッションではコロナ対応の現場のお話や今後の方策等パネリストの方々からの話も聞けてとても貴重な機会であったと思います。ありがとうございました。
②	興味深く聴講しました。ありがとうございました。
③	とても貴重な講演で、坂出市立病院の事例や裏先生の模擬授業や制御できることとできないことの方針など、日々の業務に活かしていきたいと思いました。ありがとうございました。
④	学びたい気持ちと現実的な課題達成に向けた活動との葛藤があります。今後、機会があればと考えております。
⑤	仕事の都合上、シンポジウムしか参加できませんでしたが、特別講演もミニディスカッションも大変勉強になりました。病院経営について深く勉強していきたいと思いました。今後とも御指導よろしくお願いします。
⑥	非常に勉強になりました。病院経営という観点においては最近考えることが多いです。院長や経営経営・企画部という肩書は存在しますが、今の時勢にあった経営をしているとは現場からは感じず、かねてよりこの病院には院長はいるけど、実は色々と舵を取って我々を導いてくれる存在というのがいないのでは、個々の医局及び部門の努力で病院経営が成り立っているのでは、と疑問に思っており、医学的観点と経済学的観点から、相互にバランスを取れる存在が少なくとも病院に1人以上はいないといけなと感じました。講義の後、経理部に行って、もっと勉強したいと思い、「うちの病院で経営に詳しいのは誰なのですか、うちの病院の頭脳は誰なのですか」と医療秘書に質問しに行ったのですが、その部門のトップはいないか少なくとも把握できていないみたいで、個々の詳しい有識者の方々の個別の対応で成り立っている様な印象でした(もちろん経理の医療秘書さんたちは能力非常に高いです)。アフターコロナ、ウィズコロナの時代に、ここで行動を起こせた施設と、潰れないとタカをくり現行医療を継続するだけの施設では、今後どちらら伸びる施設か結果を見るまでもないと考えております。 我々も、勉強しないと普段から余計なもったいない治療をしている可能性があると考えており、できれば自分ももっと勉強して、患者だけでなく、働いているスタッフを守れる様な存在になりたいと思います。まずはB/SとかP/Lとか簿記3級から始めていこうと思います。笑 貴重な講演ありがとうございました。
⑦	「ミニケースによる模擬授業」は「鎌倉ケーキショップ」ではなく「鎌倉病院」のケースがいいのではないのでしょうか。